

CONTENTS

01 ふる里 ゆらり旅【丹南篇】
清流の恵みと、伝統が息づく「能楽の里」

04 味だね、福井人
素朴な味わい、ふるさとが原点

07 甦る、昭和。
小浜駅前に到着した
オリンピック聖火



08 美・ふくい
新緑に染まる一乗滝

県政レポート
10 県立音楽堂に待望の
パイプオルガンが完成



12 カメラアイ

14 ふくい祭り紀行
大輪の競演「あわら北潟湖畔花菖蒲まつり」

16 福井のブランド —健康長寿を支える食文化—
収穫まで3年の歳月が、おいしさを育む「花らっきよ」

17 みんなの声

Front Cover



「越前和紙」

全国に数ある和紙産地の中で、手漉き和紙のシェア日本一を誇る越前和紙。奈良の正倉院に、西暦730年の年号が記された越前和紙が保管されているなど、古くから越前・福井の地で和紙が漉かれていたことがうかがえます。

越前和紙は今立町の五箇地区を中心として漉かれ、古くから公家・武家階級の公文書、浮世絵や日本画などの芸術作品に使われ、上質紙として高い評価を得てきました。現在では、高級版画用紙やインテリアにも使われ、長い歴史と伝統に育まれた手漉きの高度な技術が現代のニーズにも対応した形で受け継がれています。